



ユーザ付きの電話

この章では、Cisco Unified Communications Manager 一括管理を使用して、ユーザのグループとそれらの電話を1つの一括トランザクションでCisco Unified Communications Manager サーバに追加する方法について説明します。電話機の CSV データ ファイルを作成するためのオプションは、次の2つがあります。

- BAT スプレッドシート (BAT.xlt) を使用して、データを CSV 形式にエクスポートする。
- テキストエディタを使用して、テキストファイルを CSV 形式で作成する (経験のあるユーザ向け)。

[ユーザ付きの電話の挿入 (Insert Phones with Users)] オプションは、Cisco Unified Communications Manager Administration メインメニューから [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話とユーザ (Phones and Users)] を選択してアクセスできます。

- [新しい電話機とユーザの追加, 1 ページ](#)
- [BAT スプレッドシートを使用したユーザと電話機の追加, 2 ページ](#)
- [ユーザ付きの電話関連のトピック, 2 ページ](#)

新しい電話機とユーザの追加

電話機とユーザを一緒に挿入するには、次の手順を使用します。

手順

ステップ 1 更新する電話機/ユーザレコードに対して個別の値を定義するには、カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成します。

- [BAT スプレッドシートを使用したユーザと電話機の追加, \(2 ページ\)](#)
- テキストベースの CSV ファイルについては、[ユーザ付き電話機ファイル形式](#)を参照してください。

- ステップ 2 ファイル形式と CSV データ ファイルを関連付けます。
- [電話およびユーザ ファイル形式の追加](#)
- ステップ 3 電話機とユーザ レコードを検証します。
- [電話機レコードとユーザ レコードの検証](#)
- ステップ 4 電話機とユーザ レコードを挿入します。
- [Cisco Unified Communications Manager へのユーザ付き電話の挿入](#)

BAT スプレッドシートを使用したユーザと電話機の追加

電話機とユーザを一括して追加するための CSV データファイルを作成します。

手順

-
- ステップ 1 BAT スプレッドシートを開くには、BAT.xlt ファイルを探してダブルクリックします。BAT.xlt ファイルをダウンロードできます。
- ステップ 2 スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros)] をクリックします。
- ステップ 3 スプレッドシートの下部にある [電話-ユーザ (Phone-Users)] タブをクリックします。
- ステップ 4 [BAT スプレッドシートを使用した電話用 CSV データ ファイルの作成](#)のステップ 4 から 10 に従います。BAT スプレッドシートを使用してユーザを追加する場合のフィールドの説明については、[表 1](#)を参照してください。
-

関連トピック

[CSV データ ファイルを作成するために BAT スプレッドシートのデータを収集するユーザ付きの電話関連のトピック、\(2 ページ\) ファイルのアップロードおよびダウンロード](#)

ユーザ付きの電話関連のトピック

- [新しい電話機とユーザの追加、\(1 ページ\)](#)
- [ユーザ付き電話機ファイル形式](#)

- [電話およびユーザ ファイル形式の追加](#)
- [電話機レコードとユーザ レコードの検証](#)
- [Cisco Unified Communications Manager へのユーザ付き電話の挿入](#)

